

令和元年6月7日  
健康福祉部健康推進課  
課長 相川 広一  
外線(076)225-1435  
内線 4130

## 平成30年人口動態統計月報年計（概数） 石川県分の概況

「平成30年人口動態統計月報年計（概数）の概況」〔厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室集計・6月7日公表（厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai18/index.html>）〕による石川県関係分は、前年に比べ出生数、死亡数、乳児死亡数、周産期死亡数、死産数、婚姻件数、離婚件数が減少した。

### 〔出生〕

- ・ 平成30年の出生数は8,359人で、平成29年の8,696人より337人減少している。
- ・ 平成30年の出生率(人口千対)は7.4で、平成29年の7.7より低下している。  
なお、全国平均は7.4で、本県と同じである。
- ・ 平成30年の合計特殊出生率は1.54で、平成29年の1.54と変わらない。  
なお、全国平均は1.42で、本県はそれよりも高い。

### 〔死亡〕

- ・ 平成30年の死亡数は12,721人で、平成29年の12,727人より6人減少している。
- ・ 平成30年の死亡率(人口千対)は11.3で、平成29年の11.2より上昇している。  
なお、全国平均は11.0で、本県はそれよりも高い。
- ・ 死亡原因の順位は、第1位 悪性新生物3,530人(人口10万対312.4)、第2位 心疾患2,039人(人口10万対180.4)、第3位 脳血管疾患1,135人(人口10万対100.4)である。
- ・ 平成30年の乳児死亡数は10人で、平成29年の16人より6人減少

し、平成30年の乳児死亡率(出生千対)は1.2で、平成29年の1.8より低下している。

なお、乳児死亡率の全国平均は1.9で、本県はそれよりも低い。

- ・ 平成30年の周産期死亡数は24人で、平成29年の32人より8人減少し、平成30年の周産期死亡率(出産千対)は2.9で、平成29年の3.7より低下している。

なお、周産期死亡率の全国平均は3.3で、本県はそれよりも低い。

#### [自然増減]

- ・ 出生数と死亡数の差である自然増減数は $\Delta 4,362$ 人で、平成29年の $\Delta 4,031$ 人より331人減少している。

また、自然増減率(人口千対)は $\Delta 3.9$ で、平成29年の $\Delta 3.5$ より低下している。

なお、自然増減率の全国平均は $\Delta 3.6$ で、本県はそれよりも低い。

#### [死産]

- ・ 平成30年の死産数は141胎で、平成29年の163胎より22胎減少している。

平成30年の死産率(出生+死産千対)は16.6で、平成29年の18.4より低下している。

なお、死産率の全国平均は20.9で、本県はそれよりも低い。

#### [婚姻]

- ・ 平成30年の婚姻件数は4,965組で、平成29年の5,169組より204組減少している。

平成30年の婚姻率(人口千対)は4.4で、平成29年の4.6より低下している。

なお、婚姻率の全国平均は4.7で、本県はそれよりも低い。

#### [離婚]

- ・ 平成30年の離婚件数は1,469組で、平成29年の1,540組より71組減少し、平成30年の離婚率(人口千対)は1.30で、平成29年の1.36より低下している。

なお、離婚率の全国平均は1.68で、本県はそれよりも低い。

## 主な用語の定義

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

合計特殊出生率：15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供数に相当する。

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

人口動態総覧(石川県分)

	実数		率		平均発生間隔	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
出生	8,359	8,696	7.4	7.7	時分秒 1: 02: 53	時分秒 1: 00: 26
合計特殊出生率	—	—	1.54	1.54	. . .	. . .
死亡	12,721	12,727	11.3	11.2	41: 19	41: 18
乳児死亡	10	16	1.2	1.8	876: 00: 00	547: 30: 00
新生児死亡	5	7	0.6	0.8	1752: 00: 00	1251: 25: 43
自然増減	△ 4,362	△ 4,031	△ 3.9	△ 3.5	. . .	. . .
死産	141	163	16.6	18.4	62: 07: 40	53: 44: 32
自然死産	82	94	9.6	10.6	106: 49: 45	93: 11: 29
人工死産	59	69	6.9	7.8	148: 28: 28	126: 57: 23
周産期死亡	24	32	2.9	3.7	365: 00: 00	273: 45: 00
妊娠満22週以降の死産	20	27	2.4	3.1	438: 00: 00	324: 26: 40
早期新生児死亡	4	5	0.5	0.6	2190: 00: 00	1752: 00: 00
婚姻	4,965	5,169	4.4	4.6	1: 45: 52	1: 41: 41
離婚	1,469	1,540	1.30	1.36	5: 57: 48	5: 41: 18

(注) 1 平成30年は概数、平成29年は確定数である。

2 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対であり、周産期死亡妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

主要死因別 死因順位・死亡数（人）・死亡率（人口10万対）・全死亡数に占める割合（%）

全 国					石 川 県									
平 成 3 0 年					平 成 3 0 年					（参考：平成29年）				
順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合
				%					%					%
1	悪性新生物	373,547	300.7	27.4	1	悪性新生物	3,530	312.4	27.7	1	悪性新生物	3,577	314.9	28.1
2	心疾患	208,210	167.6	15.3	2	心疾患	2,039	180.4	16.0	2	心疾患	1,994	175.5	15.7
3	老 衰	109,606	88.2	8.0	3	脳血管疾患	1,135	100.4	8.9	3	脳血管疾患	1,108	97.5	8.7
4	脳血管疾患	108,165	87.1	7.9	4	老 衰	1,049	92.8	8.2	4	老 衰	963	84.8	7.6
5	肺 炎	94,654	76.2	6.9	5	肺 炎	772	68.3	6.1	5	肺 炎	929	81.8	7.3
6	不慮の事故	41,213	33.2	3.0	6	不慮の事故	410	36.3	3.2	6	不慮の事故	404	35.6	3.2
7	誤嚥性肺炎	38,462	31.0	2.8	7	誤嚥性肺炎	339	30.0	2.7	7	誤嚥性肺炎	309	27.2	2.4
8	腎不全	26,080	21.0	1.9	8	腎不全	243	21.5	1.9	8	腎不全	218	19.2	1.7
9	血管性及び詳細不明の 認 知 症	20,526	16.5	1.5	9	アルツハイマー病	238	21.1	1.9	9	血管性及び詳細不明の 認 知 症	201	17.7	1.6
10	自 殺	20,032	16.1	1.5	10	血管性及び詳細不明の 認 知 症	197	17.4	1.5	9	アルツハイマー病	201	17.7	1.6

（注）平成30年は概数、平成29年は確定数である。